

## 2 公害の種類別公害苦情受付件数

### (1) 典型 7 公害の種類別公害苦情受付件数

- 典型 7 公害では、「騒音」(39.5%)、「大気汚染」(26.5%)、「悪臭」(19.2%)で全体の 85.2%を占める。
- 受付件数の減少(対前年度比▲1,347 件)は、「悪臭」(同▲587 件)、「大気汚染」(同▲535 件)の減少による影響が大きい。

〈統計表第 1 表参照〉

典型 7 公害の公害苦情受付件数(47,622 件)を典型 7 公害の種類別にみると、「騒音」が 18,811 件(39.5%)と最も多く、次いで「大気汚染」が 12,630 件(26.5%)、「悪臭」が 9,156 件(19.2%)、「水質汚濁」が 4,300 件(9.0%)、「振動」が 2,460 件(5.2%)、「土壤汚染」が 235 件(0.5%)、「地盤沈下」が 30 件(0.1%)となっており、上位 3 公害の合計で全体の 85.2%を占めている。

受付件数が前年度に比べ 1,347 件の減少(対前年度比▲2.8%)となったことについては、「悪臭」が 587 件(同▲6.0%)、「大気汚染」が 535 件(同▲4.1%)の減少となった影響が大きい。

【図 2、図 3、図 4、表 3】

図 2 典型 7 公害の種類別公害苦情受付件数の推移

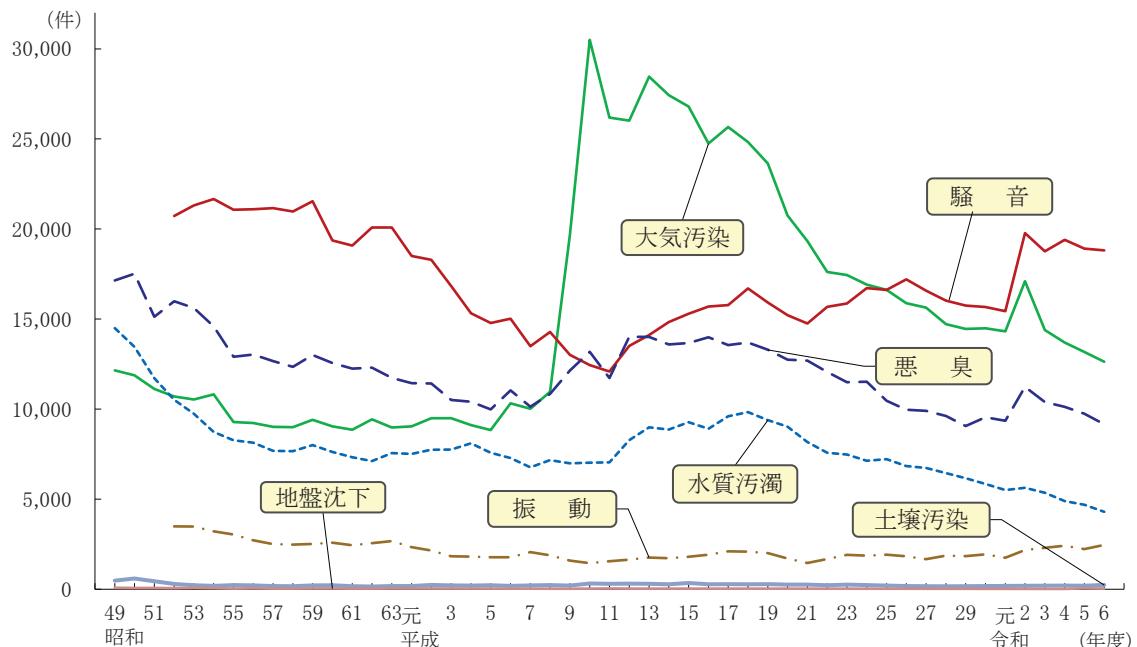


図 3 典型 7 公害の種類別公害苦情受付件数



図4 典型7公害の種類別公害苦情受付件数（令和2～6年度）

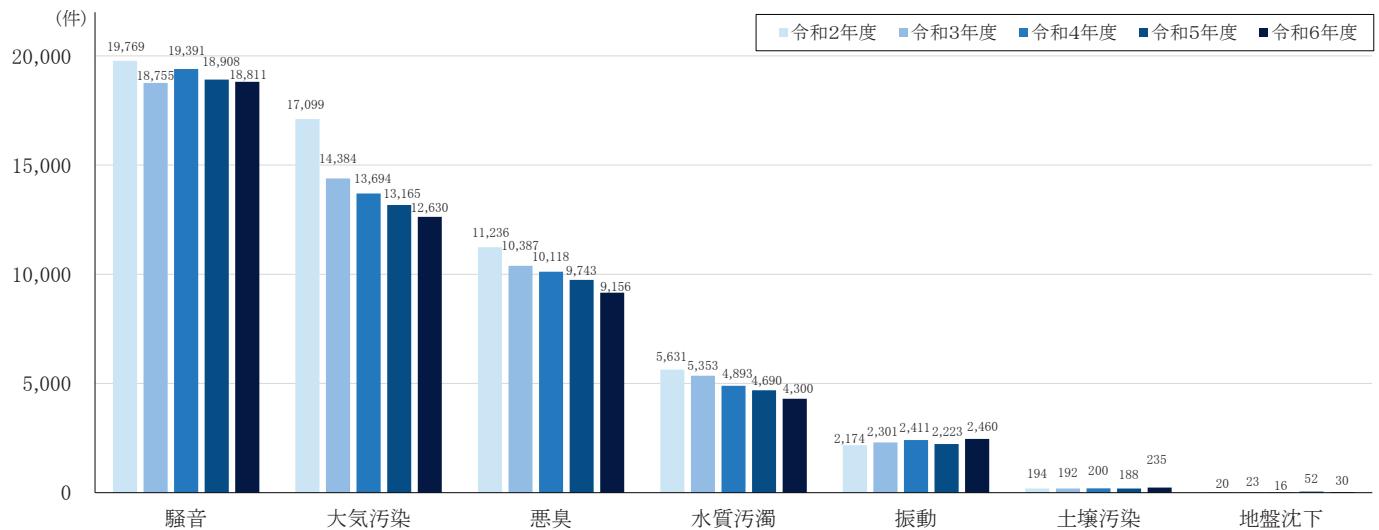


表3 典型7公害の種類別公害苦情受付件数の推移

(単位: 件)

年 度		合 計	大気汚染	水質汚濁	土壤汚染	騒 音	低周波音	振 動	地盤沈下	悪 臭
公害苦情受付件数	平成26年度	51,912	15,879	6,839	174	17,202	182	1,830	26	9,962
	27	50,677	15,625	6,729	167	16,574	227	1,663	22	9,897
	28	48,840	14,710	6,442	167	16,016	234	1,866	19	9,620
	29	47,437	14,450	6,161	166	15,743	191	1,831	23	9,063
	30	47,656	14,481	5,841	168	15,665	216	1,931	27	9,543
	令和元年度	46,555	14,317	5,505	186	15,434	249	1,743	21	9,349
	2	56,123	17,099	5,631	194	19,769	313	2,174	20	11,236
	3	51,395	14,384	5,353	192	18,755	294	2,301	23	10,387
	4	50,723	13,694	4,893	200	19,391	287	2,411	16	10,118
	5	48,969	13,165	4,690	188	18,908	294	2,223	52	9,743
構成比(%)	6	47,622	12,630	4,300	235	18,811	261	2,460	30	9,156
	平成26年度	100.0	30.6	13.2	0.3	33.1	0.4	3.5	0.1	19.2
	27	100.0	30.8	13.3	0.3	32.7	0.4	3.3	0.0	19.5
	28	100.0	30.1	13.2	0.3	32.8	0.5	3.8	0.0	19.7
	29	100.0	30.5	13.0	0.3	33.2	0.4	3.9	0.0	19.1
	30	100.0	30.4	12.3	0.4	32.9	0.5	4.1	0.1	20.0
	令和元年度	100.0	30.8	11.8	0.4	33.2	0.5	3.7	0.0	20.1
	2	100.0	30.5	10.0	0.3	35.2	0.6	3.9	0.0	20.0
	3	100.0	28.0	10.4	0.4	36.5	0.6	4.5	0.0	20.2
	4	100.0	27.0	9.6	0.4	38.2	0.6	4.8	0.0	19.9
対前年増減数	5	100.0	26.9	9.6	0.4	38.6	0.6	4.5	0.1	19.9
	6	100.0	26.5	9.0	0.5	39.5	0.5	5.2	0.1	19.2
	平成26年度	-1,127	-737	-377	-28	591	-3	-84	10	-502
	27	-1,235	-254	-110	-7	-628	45	-167	-4	-65
	28	-1,837	-915	-287	0	-558	7	203	-3	-277
	29	-1,403	-260	-281	-1	-273	-43	-35	4	-557
	30	219	31	-320	2	-78	25	100	4	480
	令和元年度	-1,101	-164	-336	18	-231	33	-188	-6	-194
	2	9,568	2,782	126	8	4,335	64	431	-1	1,887
	3	-4,728	-2,715	-278	-2	-1,014	-19	127	3	-849
対前年増減率(%)	4	-672	-690	-460	8	636	-7	110	-7	-269
	5	-1,754	-529	-203	-12	-483	7	-188	36	-375
	6	-1,347	-535	-390	47	-97	-33	237	-22	-587
	平成26年度	-2.1	-4.4	-5.2	-13.9	3.6	-1.6	-4.4	62.5	-4.8
	27	-2.4	-1.6	-1.6	-4.0	-3.7	24.7	-9.1	-15.4	-0.7
	28	-3.6	-5.9	-4.3	0.0	-3.4	3.1	12.2	-13.6	-2.8
	29	-2.9	-1.8	-4.4	-0.6	-1.7	-18.4	-1.9	21.1	-5.8
	30	0.5	0.2	-5.2	1.2	-0.5	13.1	5.5	17.4	5.3
	令和元年度	-2.3	-1.1	-5.8	10.7	-1.5	15.3	-9.7	-22.2	-2.0
	2	20.6	19.4	2.3	4.3	28.1	25.7	24.7	-4.8	20.2
	3	-8.4	-15.9	-4.9	-1.0	-5.1	-6.1	5.8	15.0	-7.6
	4	-1.3	-4.8	-8.6	4.2	3.4	-2.4	4.8	-30.4	-2.6
	5	-3.5	-3.9	-4.1	-6.0	-2.5	2.4	-7.8	225.0	-3.7
	6	-2.8	-4.1	-8.3	25.0	-0.5	-11.2	10.7	-42.3	-6.0

## (2) 典型 7 公害以外の種類別公害苦情受付件数

- 典型 7 公害以外では、「廃棄物投棄」※が前年度に比べ減少し 8,004 件

(※ 3 ページの脚注 1 参照。以下本項において同じ。)

- ✓ 前年度から「生活系」が 245 件の減少（対前年度比▲3.9%）となったことによって、廃棄物投棄全体でも 372 件の減少（同▲4.4%）

〈統計表第 1 表、第 4 表参照〉

典型 7 公害以外の公害苦情受付件数（19,309 件）のうち「廃棄物投棄」は 8,004 件と、前年度に比べ 372 件の減少（対前年度比▲4.4%）となった。「廃棄物投棄」の内訳をみると、「生活系」の投棄が 6,112 件（76.4%）となっており、最も多い。

受付件数が前年度に比べ 875 件の減少（対前年度比▲4.3%）となったことについては、「廃棄物投棄（生活系）」が 245 件の減少（同▲3.9%）となった影響が大きい。

【図 5、図 6、表 4】

図 5 典型 7 公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移

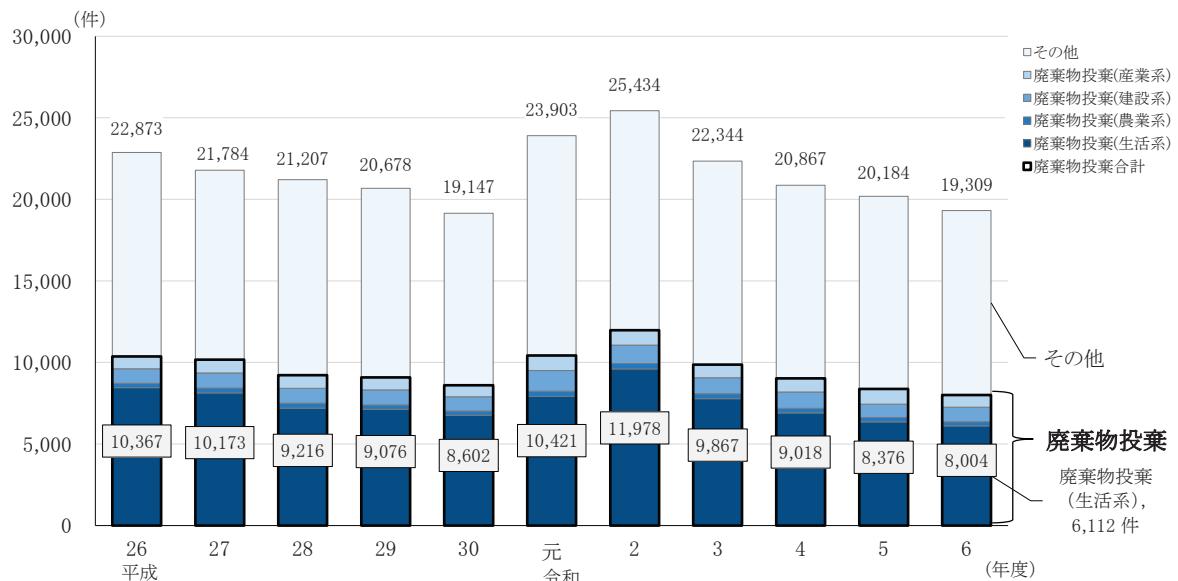
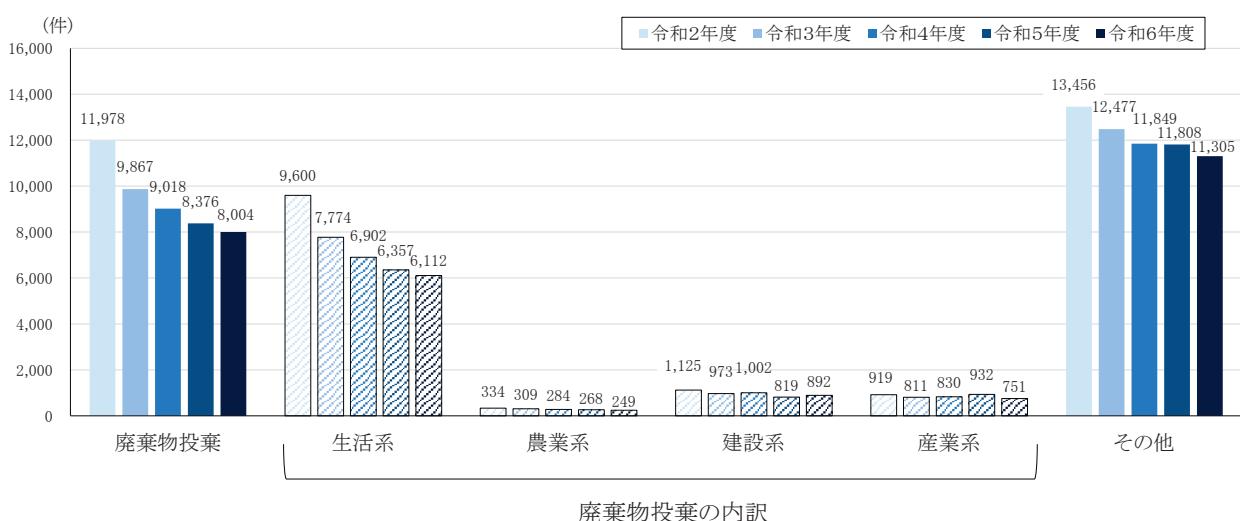


図 6 典型 7 公害以外の種類別公害苦情受付件数（令和 2 ~ 6 年度）



廃棄物投棄の内訳

表4 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移

(単位:件)

年 度		合 計	廃棄物投棄					その他の
				生活系	農業系	建設系	産業系	
公 害 苦 情 受 付 件 数	平成26年度	22,873	10,367	8,450	269	891	757	12,506
	27	21,784	10,173	8,128	309	918	818	11,611
	28	21,207	9,216	7,199	303	914	800	11,991
	29	20,678	9,076	7,130	262	925	759	11,602
	30	19,147	8,602	6,767	257	869	709	10,545
	令和元年度	23,903	10,421	7,915	322	1,262	922	13,482
	2	25,434	11,978	9,600	334	1,125	919	13,456
	3	22,344	9,867	7,774	309	973	811	12,477
	4	20,867	9,018	6,902	284	1,002	830	11,849
	5	20,184	8,376	6,357	268	819	932	11,808
	6	19,309	8,004	6,112	249	892	751	11,305
対 前 年 度 増 減 数	平成26年度	-1,046	-434	-246	-24	-125	-39	-612
	27	-1,089	-194	-322	40	27	61	-895
	28	-577	-957	-929	-6	-4	-18	380
	29	-529	-140	-69	-41	11	-41	-389
	30	-1,531	-474	-363	-5	-56	-50	-1,057
	令和元年度	4,756	1,819	1,148	65	393	213	2,937
	2	1,531	1,557	1,685	12	-137	-3	-26
	3	-3,090	-2,111	-1,826	-25	-152	-108	-979
	4	-1,477	-849	-872	-25	29	19	-628
	5	-683	-642	-545	-16	-183	102	-41
	6	-875	-372	-245	-19	73	-181	-503
対 前 年 度 増 減 率 (%)	平成26年度	-4.4	-4.0	-2.8	-8.2	-12.3	-4.9	-4.7
	27	-4.8	-1.9	-3.8	14.9	3.0	8.1	-7.2
	28	-2.6	-9.4	-11.4	-1.9	-0.4	-2.2	3.3
	29	-2.5	-1.5	-1.0	-13.5	1.2	-5.1	-3.2
	30	-7.4	-5.2	-5.1	-1.9	-6.1	-6.6	-9.1
	令和元年度	24.8	21.1	17.0	25.3	45.2	30.0	27.9
	2	6.4	14.9	21.3	3.7	-10.9	-0.3	-0.2
	3	-12.1	-17.6	-19.0	-7.5	-13.5	-11.8	-7.3
	4	-6.6	-8.6	-11.2	-8.1	3.0	2.3	-5.0
	5	-3.3	-7.1	-7.9	-5.6	-18.3	12.3	-0.3
	6	-4.3	-4.4	-3.9	-7.1	8.9	-19.4	-4.3

注) 典型7公害以外の苦情の分類例

廃 棄 物 投 棄	生活系	主に家庭生活から発生した生ごみ・紙くず・新聞紙等の燃焼物、空き缶・空きびん・乾電池等の燃焼不適物、家具・電気製品・ピアノ等の粗大ごみ等による「一般廃棄物」の投棄
	農業系	主に農林漁業から発生した畜産関係の動物の死体、ふん尿等による「産業廃棄物」の投棄
	建設系	主に建設業から発生した建築廃材等による「産業廃棄物」の投棄
	産業系	主に卸売・小売業、飲食店、宿泊業等の産業における業務から排出したごみ、製造及び処理工程で発生した紙等のくず、金属くず、ガラス、燃え殻、ばいじん、汚泥、廃油・廃酸・廃プラスチック類等による「産業廃棄物」の投棄
その他の	雑草等の花粉の浮遊、雑草等による交通視野妨害、雑草の繁茂による火災発生の危険性、汚水の流出、洗車場の汚水散布等に対する苦情	